

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： プラスチックを探して壊すバイオマイクロドロンの創出
2. 研究代表者： 中村 彰彦（静岡大学 農学部 テニュアトラック准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

近年注目されている環境水中のプラスチック微粒子への走化性を持ち、さらに吸着・分解して環境浄化を行う微生物を創出するという挑戦的な課題である。

フェーズ1では、微生物の走化性、プラスチックへの吸着および分解の3つの要素開発で成果が得られており、知財の権利化を進めている点も評価できる。フェーズ2は、3要素を載せた菌を開発し、各要素の高性能化および生産性検証を行う挑戦的な計画となっており期待できる。

以上